

人文社会科学部 歴史・人類学専攻（一貫制博士課程）

基礎科目（歴史学分野）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC221	歴史理論 A		1	1・2	春ABC	水3	人社 B817	柴田 大輔, 山田 重郎, 佐藤 千登勢		西暦偶数年度開講。
02DC222	歴史理論 B		1	1・2	秋ABC	水3	人社 B817	柴田 大輔, 山田 重郎, 佐藤 千登勢		西暦偶数年度開講。
02DC223	史学史 A		1	1・2					史学研究の流れを追いつつ、現代歴史学の課題を検討し、あわせて歴史学の方法と関心を中心に考察する。	テキストは、適宜指示する。 西暦奇数年度開講。 2018年度開講せず。
02DC224	史学史 B		1	1・2					日本史学研究の展開を題材に歴史認識の変容と歴史叙述の実際について検討する。	西暦奇数年度開講。 2018年度開講せず。

専門科目（歴史学分野）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC241	日本史特講I A		1	1 - 5					『令集解』のテキスト読解と、それを踏まえた日中の制度比較などを行う。	2018年度開講せず。
02DC242	日本史特講I B		1	1 - 5					『令集解』のテキスト読解と、それを踏まえた日中の制度比較などを行う。	2018年度開講せず。
02DC243	日本史特講II A		1	1 - 5	春ABC	金3	人社 B811	伊藤 純郎	日本近現代史に関する共通テキストと資料の輪読およびフィールドワークを通じて、日本近現代史に関する専門的知識と研究動向・研究方法を習得する。	
02DC244	日本史特講II B		1	1 - 5	秋ABC	金3	人社 B811	伊藤 純郎	日本近現代史に関する共通テキストと資料の輪読およびフィールドワークを通じて、日本近現代史に関する専門的知識と研究動向・研究方法を習得する。	
02DC245	日本史特講III A		1	1 - 5					古代の法制史料を精読し、律令制研究の方法を習得する。漢文のテキスト読解、日本と中国との制度比較、制度の成立・展開過程の追究などを行う。	2018年度開講せず。
02DC246	日本史特講III B		1	1 - 5					古代の法制史料を精読し、律令制研究の方法を習得する。漢文のテキスト読解、日本と中国との制度比較、制度の成立・展開過程の追究などを行う。	2018年度開講せず。
02DC247	日本史演習I A		2	1 - 5	春ABC	木4,5		朴 宣美	近代東アジアにおける「知の交流」・「人の交流」の問題について考察する。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。	隔週開講
02DC248	日本史演習I B		2	1 - 5	秋ABC	木4,5		朴 宣美	近代東アジアにおける文化交流や人々のアジア認識について考察する。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。	隔週開講
02DC249	日本史演習II A		2	1 - 5					近代東アジアにおける「知の交流」・「人の交流」の問題について考察する。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。並行して各自の研究テーマの発表も行う。	2018年度開講せず。
02DC250	日本史演習II B		2	1 - 5					近代東アジアにおける「知の交流」・「人の交流」の問題について考察する。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。並行して各自の研究テーマの発表も行う。	2018年度開講せず。
02DC251	日本史演習III A		2	1 - 5					近代東アジアにおける「知の交流」・「人の交流」の問題について考察する。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。	2018年度開講せず。
02DC252	日本史演習III B		2	1 - 5					近代東アジアにおける「他者認識」・「知の交流」・「人の交流」の問題について考察する。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。	2018年度開講せず。
02DC253	日本史演習IV A		2	1 - 5					18世紀中期の政治と社会について、寛政期の弘前藩藩主津軽信明の「在国日記」を読み進めることで、地域社会の変動との関わりで捉える。このことにより、18世紀中期以降の近世日本社会の変容を内的社会変化と北からのグローバル化への端緒として捉える検討を行う。	2018年度開講せず。
02DC254	日本史演習IV B		2	1 - 5					寛政から文化期の18世紀から19世紀初頭のロシアによる北からのグローバル化を地域社会との関わりで考える。関連文献を講読し、テキスト批判トレーニングを行う。	2018年度開講せず。
02DC255	日本政治史特講 A		1	1 - 5	春ABC	火4	人社 B707	三谷 芳幸	奈良時代の宣命を読む。	
02DC256	日本政治史特講 B		1	1 - 5	秋ABC	火4	人社 B707	三谷 芳幸	宣命から奈良時代の思想を考える。	
02DC257	日本社会経済史特講 A		1	1 - 5					天明から寛政期の弘前藩主であった津軽信明の「在国日記」を講読し、当該期の社会状況について検討する。	2018年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC258	日本社会経済史特講 B	1	1.5	1 - 5					寛政期前半を中心として、弘前藩の藩庁日記を読解し、18世紀後半の近世社会像を考察する。	2018年度開講せず。
02DC259	日本社会史特講 A	1	1.5	1 - 5					日本近現代史に関する共通のテキストと史料の輪読およびフィールドワーク・地域調査を通じて、日本近現代史に関する専門的知識と研究動向・研究方法を習得する。	2018年度開講せず。
02DC260	日本社会史特講 B	1	1.5	1 - 5					日本近現代史に関する共通のテキストと史料の輪読およびフィールドワーク・地域調査を通じて、日本近現代史に関する専門的知識と研究動向・研究方法を習得する。 あわせて修士論文・博士論文の指導も行う。	2018年度開講せず。
02DC261	日本文化史特講 A	1	1.5	1 - 5	春ABC	火2		中野目 徹	近代における漢学思想の意味について、漢学塾長善館館主の日記を解読することを通して考察する。	
02DC262	日本文化史特講 B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火2		中野目 徹	近代における漢学思想の意味について、漢学塾長善館館主の日記の解読を通して考察する。	
02DC263	日本思想史特講 A	1	1.5	1 - 5					最近の新発見史料である岩倉具視宛書簡を中心に検討していく。	2018年度開講せず。
02DC264	日本思想史特講 B	1	1.5	1 - 5					最近の新発見史料である岩倉具視宛書簡を中心に検討していく。	2018年度開講せず。
02DC265	日本宗教社会史特講 A	1	1.5	1 - 5	春ABC	月4, 5		山澤 学	中~近世日本宗教社会史に関する史料を読解し、検討する。当科目では先行研究を確認しつつ、未公開の筑波大学所蔵北野神社文書の写真版を読解、検討する。	隔週開講
02DC266	日本宗教社会史特講 B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	月4, 5		山澤 学	中~近世日本宗教社会史に関する史料を読解し、検討する。当科目では未公開の筑波大学所蔵北野神社文書の写真版を検討し、論文作成に向けた、研究上の新たな論点を検討する。	隔週開講
02DC267	日本史史料学特講 A	1	1.5	1 - 5					書簡史料の読解を通して近代史料学の構築を模索する。	2018年度開講せず。
02DC268	日本史史料学特講 B	1	1.5	1 - 5					書簡史料の読解を通して近代史料学の構築を模索する。	2018年度開講せず。
02DC269	日本政治史演習 A	2	1.5	1 - 5					近代日本政治史料の批判的検討。	2018年度開講せず。
02DC270	日本政治史演習 B	2	1.5	1 - 5					近代日本政治史叙述の批判的検討。	2018年度開講せず。
02DC271	日本社会経済史演習 A	2	1.5	1 - 5					天明から寛政期にかけての弘前藩主津軽信の「在国日記」(国文学研究資料館蔵)を中心として18世紀後半の社会状況を考察する。	2018年度開講せず。
02DC272	日本社会経済史演習 B	2	1.5	1 - 5					18世紀後半における近世社会の危機について、「内憂外患」という表現の多面的な内容を検討する。	2018年度開講せず。
02DC273	日本社会史演習 A	2	1.5	1 - 5					「歴史問題」について、戦争・植民地支配と責任、加害・被害と補償の観点から考察する。	2018年度開講せず。
02DC274	日本社会史演習 B	2	1.5	1 - 5					「歴史問題」について、戦争・植民地支配と責任、加害・被害と補償の観点から考察する。	2018年度開講せず。
02DC275	日本文化史演習 A	2	1.5	1 - 5					日本近現代史に関する共通テキストと資料の講読およびフィールドワークを通じて、日本近現代史に関する専門的知識と研究動向・研究方法を習得する。 今年度は、1930年の教育文化について、御真影と奉安殿の歴史の変遷に焦点をあて、地域・民衆・生活の視点から絞る。あわせて、修士論文・博士論文作成の指導も行う。	2018年度開講せず。
02DC276	日本文化史演習 B	2	1.5	1 - 5					日本近現代史に親する共通テキストと資料の講読およびフィールドワークを通じて、日本近現代史に関する専門的知識と研究動向・研究方法を習得する。 今年度は、1930年代の教育文化について、御真影と奉安殿に焦点をあて、地域・民衆・生活の視点から考察する。あわせて、修士論文・博士論文作成の指導も行う。	2018年度開講せず。
02DC277	日本思想史演習 A	2	1.5	1 - 5					近代における漢学思想の意味について、漢学塾の塾長の日記を取り上げて考察する。	2018年度開講せず。
02DC278	日本思想史演習 B	2	1.5	1 - 5					近代における漢学思想の意味について、漢学塾の塾長の日記を取り上げて考察する。	2018年度開講せず。
02DC279	日本宗教社会史演習 A	2	1.5	1 - 5					近世日本宗教社会史に関する史料を読解し、検討する。当科目では先行研究を確認しつつ、未公開の筑波大学所蔵北野神社文書の写真版を読解、検討する。	2018年度開講せず。 隔週開講
02DC280	日本宗教社会史演習 B	2	1.5	1 - 5					近世日本宗教社会史に関する史料を読解し、検討する。当科目では未公開の筑波大学所蔵北野神社文書の写真版を検討し、論文作成に向けて、研究上の論点を検討する。	2018年度開講せず。 隔週開講

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC283	日本史基礎実習	3	1.0	1・2	春C	集中		日本史学領域教員	日本史研究の基礎的な方法論を修得するため、史料調査を実地に行う。	西暦偶数年度開講。
02DC284	日本史研究法実習	3	1.0	1・2					日本史研究の専門的な方法論を修得するため、史料調査を実地に行う。	西暦奇数年度開講。
02DC285	日本史研究基礎演習ⅠA	2	1.5	1	春ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	大学院生として身につけるべき史料の解釈とその歴史の意味についての考察を深化させる。	
02DC286	日本史研究基礎演習ⅠB	2	1.5	1	秋ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	調査の上で収集した史料の解釈とその歴史の意味について、研究史の上に位置づけながら考察をより深化させる。	
02DC287	日本史研究基礎演習ⅡA	2	1.5	2	春ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	日本史研究の方法論を確認し、解読という実証の深化をめざす。修士論文の作成に向け、具体的な構想を提示する。	
02DC288	日本史研究基礎演習ⅡB	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	日本史研究のための基盤となる能力を高める。実証性の深化の上に、自らの研究の論理化した歴史過程を呈示し、修士論文としての完成をめざす。	
02DC289	日本史研究指導演習ⅠA	2	1.5	3	春ABC	水3,4	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための3年次対応の演習である。修士論文を基礎として、より高次の実証性と論理性の獲得を図る。	
02DC290	日本史研究指導演習ⅠB	2	1.5	3	秋ABC	水3,4	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための3年次対応の演習である。論文としての構想を広げるとともに、研究上への位置づけを明確化し、博士論文の基礎となるべき学術論文作成を図る。	
02DC291	日本史研究指導演習ⅡA	2	1.5	4	春ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	博士論文作成のための4年次対応の演習である。学術論文作成の上に、より高次に論理を整合させた課題設定を行う。	
02DC292	日本史研究指導演習ⅡB	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための4年次対応の演習である。博士論文作成のための基盤となるべき課題を全体構想のなかに位置づけた学術論文の作成を図る。	
02DC293	日本史研究指導演習ⅢA	2	1.5	5	春ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための5年次対応の演習である。全体構想の提示を行い、基軸となる論点を明確化する。	
02DC294	日本史研究指導演習ⅢB	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための5年次対応の演習である。構想の基軸となる論文を提示し理論的裏付けを明確化する。	
02DC295	日本史研究指導演習ⅣA	2	1.5	3-5	春ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成をめざす3から5年次の演習である。これまでの既発表学術論文の再構成の上に博士論文としての実証性の深化を図る。	
02DC296	日本史研究指導演習ⅣB	2	1.5	3-5	秋ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための3から5年次の演習である。論文を研究史へいかに位置づけ、新たな学術性を獲得することをめざした指導をおこなう。	
02DC297	日本史研究指導演習ⅤA	2	1.5	3-5	春ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための3から5年次の演習である。博士論文の完成に向け、実証内容の深化のうえに、研究上新たな知見を提示した、博士論文の全体概要を提示するべく指導を行う。	
02DC298	日本史研究指導演習ⅤB	2	1.5	3-5	秋ABC	応談	人社B817	日本史学領域教員	課程博士論文作成のための3から5年次対応の演習である。博士論文の全体構成を提示させ、実証内容の一層の深化のみならず、学術論文としての論理性を高め、研究上新たな地平を切り開くべく指導を行う。	
02DC323	東洋史特講ⅡA	1	1.5	1-5					中国近現代社会・経済史、華僑史、台湾現代史に関わるテキストを受講者と講読し、内容について議論する。	教室:8A101 01DQ367と同一。 2018年度開講せず。
02DC324	東洋史特講ⅡB	1	1.5	1-5					中国近現代社会・経済史、華僑史、台湾現代史に関わるテキストを受講者と講読し、内容について議論する。	教室:8A101 01DQ369と同一。 2018年度開講せず。
02DC325	東洋史特講ⅢA	1	1.5	1-5					清朝の档案史料を題材としながら、清朝の行政機構・政策過程について、貨幣政策を中心に講義する。	2018年度開講せず。
02DC326	東洋史特講ⅢB	1	1.5	1-5					清朝の档案史料を題材としながら、清朝の行政機構・政策過程について、財政政策を中心に講義する。	2018年度開講せず。
02DC331	東洋史特講ⅥA	1	1.5	-						2018年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC333	東洋史特講VII A	1	1.5	1 - 5					本講義においては、中国南部の少数民族の宗教史を考察する。事例として、ランテン系のヤオ族を取りあげ、その清代に書写された漢文宗教文献を講読しながら、ヤオ族の道教と漢族の道教の異同について講義し、研究の意義と課題を明らかにする。特にランテン系ヤオ族の死者儀礼における地獄観をあつかう。	01DQ337と同一。 2018年度開講せず。
02DC334	東洋史特講VII B	1	1.5	1 - 5					本授業においては、中国南部の少数民族の宗教史をテーマとし、清代に書写されたランテン系ヤオ族の漢文宗教文献を講読しながら、ヤオ族の道教儀礼と漢族の道教儀礼の特徴を比較検討する。	01DQ339と同一。 2018年度開講せず。
02DC343	東洋史演習III A	2	1.5	1 - 5					清朝の檔案史料の講読を通して清朝支配の特質について考察する。	2018年度開講せず。
02DC344	東洋史演習III B	2	1.5	1 - 5					清朝の檔案史料の講読を通して清朝支配の特質について議論する。	2018年度開講せず。
02DC345	東洋史演習IV A	2	1.5	1 - 5					清朝の檔案史料を講読し、檔案史料を利用して歴史叙述を行うための基礎的能力を養う。	漢文(古典漢語)の読解能力を既に一定程度有している者のみ受講を認める。 01DP207と同一。 2018年度開講せず。
02DC346	東洋史演習IV B	2	1.5	1 - 5					清朝の檔案史料を講読し、檔案史料を利用して歴史叙述を行うための実践的能力を養う。	漢文(古典漢語)の読解能力を既に一定程度有している者のみ受講を認める。 01DP208と同一。 2018年度開講せず。
02DC349	東洋史演習VI A	2	1.5	1 - 5	春ABC	木6	人社 B717	上田 裕之	清代中期の檔案史料を講読し、清朝の文書行政に対する理解を深める。	漢文(古典漢語)の読解能力を既に一定程度有している者のみ受講を認める。 01DP203と同一。
02DC350	東洋史演習VI B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木6	人社 B717	上田 裕之	清代中期の檔案史料を講読し、清朝の政策過程について歴史的に考察する能力を修得する。	漢文(古典漢語)の読解能力を既に一定程度有している者のみ受講を認める。 01DP204と同一。
02DC351	東洋史演習VII A	2	1.5	1 - 5	春ABC	金6	人社 B717	丸山 宏	この演習においては、清代の中国南部におけるヤオ族が漢文で書写した道教儀礼文献のマニュスクリプトを解読し、その意義について検討する。特に死者儀礼の中心部分を占める行道儀礼等の項目を扱いたい。学生による解読成果の報告とそれに対する質疑応答を行う。	01DQ384と同一。
02DC352	東洋史演習VII B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	金6	人社 B717	丸山 宏	この演習においては清代の中国南部のヤオ族が漢文で書写した道教儀礼文献を解読し、その意義を検討する。特に民族社会の死者儀礼における奏章と煉度の方法の記述に注目していく。学生には解読成果の報告を求め、質疑応答を行う。	01DQ388と同一。
02DC353	東洋史演習VIII A	2	1.5	1 - 5					中国近現代社会経済に関する研究書や論文を参加者と輪読し、内容について討論する。 社会史研究の方法を重点的に学ぶ。	01DQ321と同一。 2018年度開講せず。
02DC354	東洋史演習VIII B	2	1.5	1 - 5					中国近現代社会経済史に関する研究書や論文を参加者と輪読し、内容について討論する。 とくに社会史研究の方法を重点的に学ぶ。	01DQ323と同一。 2018年度開講せず。
02DC359	東洋社会史特講 A	1	1.5	1 - 5	春ABC	金3		山本 真	近現代における中国・台湾・東南アジア華人に関わる社会史の諸問題を論じる。当該分野の先行研究や関連文献を受講者とともに講読していく。	01DQ361と同一。 テキストは受講者と相談して決定する。成績は出席と授業への積極的な参加状況に基づき決定する。
02DC360	東洋社会史特講 B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	金3		山本 真	近現代における中国・台湾・東南アジア華人に関わる社会史の諸問題を論じる。当該分野の先行研究や関連文献を受講者とともに講読していく。	01DQ363と同一。 テキストは受講者と相談して決定する。成績は出席と授業への積極的な参加状況に基づき決定する。
02DC363	東洋制度史特講 A	1	1.5	1 - 5					清朝の文書行政制度について、檔案史料を受講生とともに講読しながら解説する。	2018年度開講せず。
02DC364	東洋制度史特講 B	1	1.5	1 - 5					清朝の文書行政制度について、檔案史料を受講生とともに講読しながら解説し、受講生各自の研究との関連について議論する。	2018年度開講せず。
02DC369	東洋文化史特講 A	1	1.5	1 - 5					この授業においては、中国の清代末期に漢文で書かれたヤオ族の儀礼文献を精読し、中国南部において漢族の文化を少数民族がいかに受容し再構築したかという文化史上の問題を史料の講読を交えて講義形式で考察する。主としてヤオ族の道教による葬儀の重要な内容を検討する。	01DQ331と同一。 2018年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC370	東洋文化史特講 B	1	1.5	1 - 5					この授業においては中国清代末期の手書きの漢文で書かれたヤオ族の儀礼文献を精読し、漢族の道教をヤオ族がいかに理解し彼等なりに再構築したかについて考察する。特にヤオ族の道教式葬儀における儀礼項目の意味づけに注目する。中国南部の漢族と少数民族の間における、文化接触と文化交流の具体的な表れとして、史料から読み取り得る問題について考察したい。	01DQ333と同一。 2018年度開講せず。
02DC371	東洋政治史演習 A	2	1.5	1 - 5					前近代中国の民族基層社会における儀礼言説の政治性について、民間写本の解説を通じて、多面的に考察する。ヤオ族の道教の儀礼空間、地獄観、死者の裁判を取りあげ、政治性と宗教性の異同を検討する。	教室:8A409 01DQ395と同一。 2018年度開講せず。
02DC372	東洋政治史演習 B	2	1.5	1 - 5					前近代中国の民族基層社会における儀礼言説の政治性について、民間写本の解説を通じて、多面的に考察する。ヤオ族の道教の朝謁、誦経、賜食などを取り上げ、政治性と宗教性の異同を検討する。	教室:8A409 01DQ396と同一。 2018年度開講せず。
02DC373	東洋経済史演習 A	2	1.5	1 - 5					中国近現代社会・経済史、華僑史、台湾現代史に関わるテキストを受講者と講読し、内容について議論する。	01DQ327と同一。 2018年度開講せず。
02DC374	東洋経済史演習 B	2	1.5	1 - 5					中国近現代社会・経済史、華僑史、台湾現代史に関わるテキストを受講者と講読し、内容について議論する。	01DQ329と同一。 2018年度開講せず。
02DC379	東洋制度史演習 A	2	1.5	1 - 5					清朝の档案史料の講読を通して、清朝の行政機構・政策過程について考察し、皇帝や各官僚それぞれの視点の相違を踏まえた多面的な歴史叙述へと結びつけていくための基礎的な知識を獲得する。	2018年度開講せず。
02DC380	東洋制度史演習 B	2	1.5	1 - 5					清朝の档案史料の講読を通して、清朝の行政機構・政策過程について考察し、皇帝や各官僚それぞれの視点の相違を踏まえた多面的な歴史叙述へと結びつけていくための能力を涵養する。	2018年度開講せず。
02DC389	東洋史研究基礎演習Ⅰ A	2	1.5	1	春ABC	水2	人社 B817	東洋史学領域教員	1年次生を対象とする春学期の研究演習。研究テーマに関する先行研究の整理、基本的史料の利用方法等について、基礎的演習を行う。	
02DC390	東洋史研究基礎演習Ⅰ B	2	1.5	1	秋ABC	水2	人社 B817	東洋史学領域教員	1年次生を対象とする秋学期の研究演習。研究テーマに関する先行研究の整理、基本的史料の利用方法等について、基礎的演習を行う。	
02DC391	東洋史研究基礎演習Ⅱ A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	2年次生を対象とする春学期の研究演習。中間評価論文作成にむけて、総括的指導を行う。	
02DC392	東洋史研究基礎演習Ⅱ B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	2年次生を対象とする秋学期の研究演習。中間評価論文作成にむけて、総括的指導を行なう。	
02DC393	東洋史研究演習Ⅰ A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	3年次生を対象とする春学期の研究演習。関連する隣接諸科学の知識の習得、新たな史料の発掘とその利用について指導する。	
02DC394	東洋史研究演習Ⅰ B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	3年次生を対象とする秋学期の研究演習。関連する隣接諸科学の知識、新たな史料の発掘とその利用について指導を行う。	
02DC395	東洋史研究演習Ⅱ A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	4年次生を対象とする春学期の研究演習。博士論文の内容構成、史料の利用法、論文の全体的な構想の修正と補強に関して、具体的な指導を行う。	
02DC396	東洋史研究演習Ⅱ B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	4年次生を対象とする秋学期の研究演習。博士論文の内容構成、史料の利用方法、論文の全体的な構想の修正と補強に関して具体的な指導を行う。	
02DC397	東洋史研究演習Ⅲ A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	5年次生を対象とする春学期の研究演習。博士論文提出に関する、各段階での具体的な指導を行う。	
02DC398	東洋史研究演習Ⅲ B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	5年次生を対象とする秋学期の研究演習。博士論文提出に関する各段階での具体的な指導を行う。	
02DC399	東洋史研究演習Ⅳ A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	3~5年次生を対象とする春学期の研究演習。学会発表、論文投稿等の指導を通じて、自立的な研究能力を養う。	
02DC400	東洋史研究演習Ⅳ B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	3~5年次生を対象とする秋学期の研究演習。学会発表、論文投稿等の指導を通じて、自立的な研究能力を養う。	
02DC401	東洋史研究演習Ⅴ A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	3~5年次生を対象とする春学期の研究演習。博士論文の完成にむけて、構成や内容について具体的な指導を行う。	
02DC402	東洋史研究演習Ⅴ B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B817	東洋史学領域教員	3~5年次生を対象とする秋学期の研究演習。博士論文の完成にむけて、構成や内容の具体的な指導を行う。	
02DC421	西洋史特講Ⅰ A	1	1.5	1 - 5	春ABC	火5		山田 重郎	楔形文字文書を原典から講読し、メソポタミアの歴史と文化を学ぶ。	
02DC422	西洋史特講Ⅰ B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火5		山田 重郎	楔形文字文書を原典から講読し、メソポタミアの歴史と文化を学ぶ。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC425	西洋史特講III A	1	1.5	1 - 5					楔形文字アッカド語史料を講読し、この史料を手がかりに前2・1千年紀メソポタミアの文化史について学ぶ。	2018年度開講せず。
02DC426	西洋史特講III B	1	1.5	1 - 5					楔形文字アッカド語史料を講読し、この史料を手がかりに前2・1千年紀メソポタミアの宗教史について学ぶ。	2018年度開講せず。
02DC427	西洋史特講IV A	1	1.5	1 - 5					シュメル語文法を学習したうえで、平易な楔形文字シュメル語文書を読む。	2018年度開講せず。
02DC428	西洋史特講IV B	1	1.5	1 - 5					楔形文字文書を講読する。	2018年度開講せず。
02DC429	西洋史特講V A	1	1.5	1 - 5	春ABC	木6		村上 宏昭	近代史研究に関する主要なトピックについて文献を講読し、議論する。	
02DC430	西洋史特講V B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木6		村上 宏昭	近代史研究に関する主要なトピックについて文献を講読し、議論する。	
02DC433	西洋史特講VII A	1	1.5	1 - 5	春ABC	火3		佐藤 千登勢	20世紀前半のアメリカ史に関する英語文献を講読する。	01DQ061と同一。 西暦偶数年度開講。
02DC434	西洋史特講VII B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火3		佐藤 千登勢	20世紀後半のアメリカ史に関する英語文献を講読する。	01DQ063と同一。 西暦偶数年度開講。
02DC435	西洋史特講VIII A	1	1.5	1 - 5					近現代のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに研究書)の講読	2018年度開講せず。
02DC436	西洋史特講VIII B	1	1.5	1 - 5					近現代のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに1次史料)の講読	2018年度開講せず。
02DC437	西洋史特講IX A	1	1.5	1 - 5					アメリカ合衆国における人種・エスニシティをめぐる問題を歴史的に考察する。植民地時代から南北戦争までの時代に焦点を当てる。	2018年度開講せず。
02DC438	西洋史特講IX B	1	1.5	1 - 5					アメリカ合衆国における人種・エスニシティをめぐる問題を歴史的に考察する。南北戦争から20世紀初頭までの時代に焦点を当てる。	2018年度開講せず。
02DC439	西洋史特講X A	1	1.5	1 - 5					「アメリカとイスラム」というテーマで、アメリカ合衆国におけるイスラム教徒の歴史と現状について考察する。	2018年度開講せず。
02DC440	西洋史特講X B	1	1.5	1 - 5					アメリカ合衆国が国家としてどのように難民を受け入れてきたのかを歴史的に検討するとともに、現代の難民問題にいかに対処しているのかを学ぶ。	2018年度開講せず。
02DC441	西洋史特講XI A	1	1.5	1 - 5					アメリカ史研究における主要なテーマと史学史を学ぶ。南北戦争期から20世紀初頭に焦点を当てる。	西暦奇数年度開講。 01DQ062と同一。
02DC442	西洋史特講XI B	1	1.5	1 - 5					アメリカ史研究における主要なテーマと史学史を学ぶ。20世紀初頭から1990年代までに焦点を当てる。	西暦奇数年度開講。 01DQ064と同一。
02DC443	西洋史特講XII A	1	1.5	1 - 5					20世紀前半のアメリカ史に関する英語文献を講読する。	教室:8A409 西暦偶数年度開講。 01DQ061と同一。 2018年度開講せず。
02DC444	西洋史特講XII B	1	1.5	1 - 5					20世紀後半のアメリカ史に関する英語文献を講読する。	教室:8A409 西暦偶数年度開講。 01DQ063と同一。 2018年度開講せず。
02DC445	西洋史史料研究I A	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典からアッカド語で書かれた王碑文を講読する。	参加者はアッカド語の基礎的知識を持つ者に限る。 2018年度開講せず。
02DC446	西洋史史料研究I B	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典からアッカド語で書かれた書簡と歴史学文書を講読する。	参加者はアッカド語の基礎的知識を持つ者に限る。 2018年度開講せず。
02DC447	西洋史史料研究II A	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典から前2千年紀にアッシリア方言で書かれた諸文書を講読する。	2018年度開講せず。
02DC448	西洋史史料研究II B	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典から前1千年紀にアッシリア方言で書かれた諸文書を講読する。	2018年度開講せず。
02DC449	西洋史史料研究III A	2	1.5	1 - 5					紀元前7世紀アッシリアにおけるアッシュルバニバル王の文書収集活動に関連する3点の書簡を講読し、他の史料も検討しながらこの王の文書収集活動について考察する。	2018年度開講せず。
02DC450	西洋史史料研究III B	2	1.5	1 - 5					紀元前1千年紀に書写された宗教的内容の楔形文字文書を講読し、古代メソポタミア宗教史について考察する。	2018年度開講せず。
02DC453	西洋史史料研究V A	2	1.5	1 - 5					近代史研究に関する主要なトピックについて文献を講読し、議論する。	2018年度開講せず。
02DC454	西洋史史料研究V B	2	1.5	1 - 5					近代史に関する主要なテーマについて史料を講読し、議論する。	2018年度開講せず。
02DC455	西洋史史料研究VI A	2	1.5	1 - 5					ヨーロッパ歴史学に関する文献を講読し、それにもとづいて報告とディスカッションを行う。	2018年度開講せず。
02DC456	西洋史史料研究VI B	2	1.5	1 - 5					ヨーロッパ近現代史に関する文献を講読し、それにもとづいて報告とディスカッションを行う。	2018年度開講せず。
02DC457	西洋史史料研究VII A	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦以前のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに研究書)の講読	2018年度開講せず。
02DC458	西洋史史料研究VII B	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦以後のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに研究書)の講読	2018年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC459	西洋史史料研究VIII A	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦以前のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに1次史料)の講読	2018年度開講せず。
02DC460	西洋史史料研究VIII B	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦以後のイギリス帝国史に関する英語文献(とくに1次史料)の講読	2018年度開講せず。
02DC461	西洋史史料研究IX A	2	1.5	1 - 5	春ABC	火4		佐藤 千登勢	現代史研究に関わる主要なトピックについて文献を講読し、議論する。	01DQ291と同一。 西暦偶数年度開講。
02DC462	西洋史史料研究IX B	2	1.5	-	秋ABC	火4		佐藤 千登勢	現代史研究に関わる主要なトピックについて文献を講読し、議論する。	01DQ292と同一。 西暦偶数年度開講。
02DC465	西洋史史料研究XI A	2	1.5	1 - 5					現代史研究に関わる主要なトピックについて文献を講読し、議論する。	西暦奇数年度開講。 01DQ291と同一。
02DC466	西洋史史料研究XI B	2	1.5	1 - 5					現代史に関する主要なテーマについて史料を講読し、議論する。	西暦奇数年度開講。 01DQ292と同一。
02DC467	西洋史史料研究XII A	2	1.5	1 - 5	春ABC	木5		村上 宏昭	ヨーロッパ歴史学の理論に関する文献を講読し、それにもとづいて報告とディスカッションを行う。	西暦偶数年度開講。 01DQ280と同一。
02DC468	西洋史史料研究XII B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木5		村上 宏昭	ヨーロッパ史学史に関する文献を講読し、それにもとづいて報告とディスカッションを行う。	西暦偶数年度開講。 01DQ281と同一。
02DC469	西洋史演習I A	2	1.5	1 - 5					ウラルトゥ語の基礎文法を学習したうえで、ウラルトゥ語王碑文を講読する。	楔形文字アッカド語の基礎知識を持つ者に限る。 2018年度開講せず。
02DC470	西洋史演習I B	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典からアッカド語で書かれた王碑文の講読する。	参加者はアッカド語の基礎知識を持つ者に限る。 2018年度開講せず。
02DC471	西洋史演習II A	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典からアッカド語(アッシリア方言)で書かれた史料を講読する。	参加者はアッカド語の基礎知識を持つ者に限る。 2018年度開講せず。
02DC472	西洋史演習II B	2	1.5	1 - 5					楔形文字の原典からアッカド語で書かれた史料を講読する。	参加者はアッカド語の基礎知識を持つ者に限る。 2018年度開講せず。
02DC473	西洋史演習III A	2	1.5	1 - 5	春ABC	金6		柴田 大輔	楔形文字の原典からシュメル語・アッカド語で書かれた史料を講読する。	参加者はシュメル語とアッカド語の基礎知識を持つ者に限る。
02DC474	西洋史演習III B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	金6		柴田 大輔	楔形文字の原典からシュメル語・アッカド語で書かれた史料を講読する。	参加者はシュメル語とアッカド語の基礎知識を持つ者に限る。
02DC477	西洋史演習V A	2	1.5	1 - 5					歴史研究に関する文献を講読する。特にフーコーの講義録を通して方法論上の問題意識を育む。	2018年度開講せず。
02DC478	西洋史演習V B	2	1.5	1 - 5					歴史研究に関する文献を講読する。特にフーコーの講義録を通して方法論上の問題意識を育む。	2018年度開講せず。
02DC479	西洋史演習VI A	2	1.5	1 - 5					歴史研究に関する文献を講読する。特にブルデューのハビトゥス論を精読することで方法論上の問題意識を育む。	2018年度開講せず。
02DC480	西洋史演習VI B	2	1.5	1 - 5					歴史研究に関する文献を講読する。特にブルデューの再生産論を精読することで方法論上の問題意識を育む。	2018年度開講せず。
02DC485	西洋史演習IX A	2	1.5	1 - 5					アメリカ史の基本的な英語文献を講読し、20世紀のアメリカ史研究に関する理解を深める。1930年代のニューディールに関する文献を取り上げる。	2018年度開講せず。
02DC486	西洋史演習IX B	2	1.5	1 - 5					アメリカ史の基本的な英語文献を講読し、20世紀のアメリカ史研究に関する理解を深める。第二次世界大戦期のアメリカ社会に関する文献を取り上げる。	2018年度開講せず。
02DC487	西洋史演習X A	2	1.5	1 - 5					19世紀から20世紀前半のアメリカにおける社会保障・社会福祉・労働法について学ぶ。	2018年度開講せず。
02DC488	西洋史演習X B	2	1.5	1 - 5					20世紀後半のアメリカにおける社会保障・社会福祉・労働法について学ぶ。	2018年度開講せず。
02DC489	西洋史演習XI A	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦前のイギリスおよび旧イギリス帝国圏の歴史について、地域研究の視点を取り入れながら、英語文献を講読する。	西暦奇数年度開講。 01DQ289と同一。
02DC490	西洋史演習XI B	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦後のイギリスおよび旧イギリス帝国圏の歴史について、地域研究の視点を取り入れながら、英語文献を講読する。	西暦奇数年度開講。 01DQ290と同一。
02DC491	西洋史演習XII A	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦前のイギリスおよび旧イギリス帝国圏の文化・社会について、地域研究の視点を取り入れながら、英語文献を講読する。	西暦偶数年度開講。 01DQ297と同一。 2018年度開講せず。
02DC492	西洋史演習XII B	2	1.5	1 - 5					第2次世界大戦後のイギリスおよび旧イギリス帝国圏の文化・社会について、地域研究の視点を取り入れながら、英語文献を講読する。	西暦偶数年度開講。 01DQ298と同一。 2018年度開講せず。
02DC493	西洋史研究基礎演習I A	2	1.5	1	春ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究に関する演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC494	西洋史研究基礎演習I B	2	1.5	1	秋ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC495	西洋史研究基礎演習II A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC496	西洋史研究基礎演習II B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC497	西洋史研究演習I A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC498	西洋史研究演習I B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC499	西洋史研究演習II A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC500	西洋史研究演習II B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC501	西洋史研究演習III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC502	西洋史研究演習III B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC503	西洋史研究演習IV A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC504	西洋史研究演習IV B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC505	西洋史研究演習V A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC506	西洋史研究演習V B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B717	西洋史学領域教員	西洋史研究の演習を行う。演習は学生による発表形式によって進められる。	
02DC521	歴史地理学特講I A	1	1.5	1 - 5					日本および英語圏の近現代の歴史地理学的諸問題について、従来の研究成果を概観するとともに、文書史料や統計、地図などの活用方法について解説する。	2017年度より3年おき開講。
02DC522	歴史地理学特講I B	1	1.5	1 - 5					日本の近代の歴史地理学的諸問題について、従来の研究成果を概観するとともに、文書史料や統計、地図などの活用方法について解説する。	2017年度より3年おき開講。
02DC523	歴史地理学特講II A	1	1.5	1 - 5	春ABC	火3	人社 B717	中西 僚太郎	日本の絵図・地図に関して、従来の研究成果を概観するとともに、歴史地理学における活用方法について解説する。	2018年度より3年おき開講。
02DC524	歴史地理学特講II B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火3	人社 B717	中西 僚太郎	日本の文書史料と統計資料について、従来の研究成果を概観するとともに、歴史地理学における活用方法について解説する。	2018年度より3年おき開講。
02DC525	歴史地理学特講III A	1	1.5	1 - 5					歴史地理学における主要テーマの一つである環境認識研究について、多面的に考察する。	教室:共同研究棟A505 2015年度より3年おき開講。
02DC526	歴史地理学特講III B	1	1.5	1 - 5					近年の歴史地理学において重要な動向の一つとなっている生活史の視点について、多面的に考察する。	2015年度より3年おき開講。
02DC527	歴史地理学特講IV A	1	1.5	1 - 5					歴史地理学における環境認識研究の発達史、現況および今後の課題について、事例を挙げて考察する。	2016年度より3年おき開講。
02DC528	歴史地理学特講IV B	1	1.5	1 - 5					歴史地理学における生活史研究の意義と実際について、具体的事例を挙げて考察する。	2016年度より3年おき開講。 参考文献は、授業時に指示する。
02DC529	歴史地理学演習I A	2	1.5	1 - 5					中国の近現代の歴史地理学的諸問題について、従来の研究成果を論文の購読を通して学習する。	2015年度より3年おき開講。
02DC530	歴史地理学演習I B	2	1.5	1 - 5					中国の近現代の歴史地理学的諸問題に関連する様々な史料の活用方法を学習する。	2015年度より3年おき開講。
02DC531	歴史地理学演習II A	2	1.5	1 - 5					日本の農山漁村の歴史地理学的諸問題について、従来の研究成果を論文の購読を通して学習する。	2016年度より3年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC532	歴史地理学演習II B	2	1.5	1 - 5					日本の農山漁村の歴史地理学的諸問題に関連する様々な史資料の活用方法を学習する。	2016年度より3年おき開講。
02DC533	歴史地理学演習III A	2	1.5	1 - 5					歴史地理学における生活史の研究動向を検討する。	2017年度より3年おき開講。
02DC534	歴史地理学演習III B	2	1.5	1 - 5					歴史地理学における環境認識研究の動向を検討する。	2017年度より3年おき開講。
02DC535	歴史地理学演習IV A	2	1.5	1 - 5	春ABC	木3	人社B717	小口 千明	歴史地理学における環境認識研究の動向を検討する。	2018年度より3年おき開講。
02DC536	歴史地理学演習IV B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木3	人社B717	小口 千明	環境認識をテーマとする歴史地理学研究の史資料、分析方法、知見、諸課題等について検討する。	2018年度より3年おき開講。
02DC537	歴史地理学基礎実習	3	1.0	1	通年	随時		中西 僚太郎	歴史地理学研究における統計図表の作成方法および地図・主題図の表現方法などについて、課題を与えて指導する。	
02DC538	歴史地理学実習I A	3	1.5	1 - 5					特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を指導する。	野外調査の具体的な場所と期間については、追って指示する。 2015年度より4年おき開講。
02DC539	歴史地理学実習I B	3	1.5	1 - 5					歴史地理学における野外調査結果の分析方法とまとめ方を指導する。	2015年度より4年おき開講。
02DC540	歴史地理学実習II A	3	1.5	1 - 5					特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を指導する。	2016年度より4年おき開講。
02DC541	歴史地理学実習II B	3	1.5	1 - 5					歴史地理学における野外実習結果の分析方法とまとめ方を指導する。	2016年度より4年おき開講。
02DC542	歴史地理学実習III A	3	1.5	1 - 5					特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を指導する。	2017年度より4年おき開講。
02DC543	歴史地理学実習III B	3	1.5	1 - 5					歴史地理学における野外実習結果の分析方法とまとめ方を指導する。	2017年度より4年おき開講。
02DC544	歴史地理学実習IV A	3	1.5	1 - 5	夏季休業中	集中		歴史地理学領域教員	特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を指導する。	野外調査の具体的な場所と期間については、追って指示する。 2018年度より4年おき開講。
02DC545	歴史地理学実習IV B	3	1.5	1 - 5	秋ABC	随時		歴史地理学領域教員	歴史地理学における野外調査結果の分析方法とまとめ方を指導する。	2018年度より4年おき開講。
02DC546	歴史地理学実習V A	3	1.5	1 - 5					特定地域をフィールドに選び、野外での観察や調査の方法を指導する。	野外調査の具体的な場所と期間については、追って指示する。 2014年度より4年おき開講。
02DC547	歴史地理学実習V B	3	1.5	1 - 5					歴史地理学における野外調査結果の分析方法とまとめ方を指導する。	2014年度より4年おき開講。
02DC548	歴史地理学研究基礎演習I A	2	1.5	1	春ABC	応談		歴史地理学領域教員	1年次生段階に応じた歴史地理学の中間評価論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	
02DC549	歴史地理学研究基礎演習I B	2	1.5	1	秋ABC	応談		歴史地理学領域教員	1年次生段階に応じた歴史地理学の中間評価論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC550	歴史地理学研究基礎演習II A	2	1.5	2	春ABC	応談		歴史地理学領域教員	2年次生段階に応じた歴史地理学の中間評価論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	
02DC551	歴史地理学研究基礎演習II B	2	1.5	2	秋ABC	応談		歴史地理学領域教員	2年次生段階に応じた歴史地理学の中間評価論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC552	歴史地理学研究演習I A	2	1.5	3	春ABC	応談		歴史地理学領域教員	3年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	
02DC553	歴史地理学研究演習I B	2	1.5	3	秋ABC	応談		歴史地理学領域教員	3年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC554	歴史地理学研究演習II A	2	1.5	4	春ABC	応談		歴史地理学領域教員	4年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	
02DC555	歴史地理学研究演習II B	2	1.5	4	秋ABC	応談		歴史地理学領域教員	4年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC556	歴史地理学研究演習III A	2	1.5	5	春ABC	応談		歴史地理学領域教員	5年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の紹介と討議を通して考える。	
02DC557	歴史地理学研究演習III B	2	1.5	5	秋ABC	応談		歴史地理学領域教員	5年次生段階に応じた歴史地理学の学位論文作成のための指導を行う。具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC558	歴史地理学研究演習IV A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談		歴史地理学領域教員	学位論文提出へ向けての具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の検討を通して考える。	
02DC559	歴史地理学研究演習IV B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談		歴史地理学領域教員	学位論文提出へ向けての具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	
02DC560	歴史地理学研究演習V A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談		歴史地理学領域教員	学位論文提出に際しての具体的な論文作成法を、主として内外の参考文献の検討を通して考える。	
02DC561	歴史地理学研究演習V B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談		歴史地理学領域教員	学位論文提出に際しての具体的な論文作成法を、各自の研究事例の発表と討議を通して考える。	

専門科目(人類学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC581	先史学研究I A	2	1.5	1・2					人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察する先史学の方法と理論について理解を深める。先史時代における不平等さの形成について多面から検討しているテキストを講読し、議論を通して先史時代の社会について考察する。	2017年度より2年おき開講。
02DC582	先史学研究I B	2	1.5	1・2					人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察する先史学の方法と理論について理解を深める。先史時代における不平等さの拡大について多面から検討しているテキストを講読し、議論を通して先史時代の社会について考察する。	2017年度より2年おき開講。
02DC583	先史学研究II A	2	1.5	1・2					論文講読を中心に、考古科学、考古化学に関する理論と実践について理解を深め、幅広い視点からその結果および課題を考察する。	2017年度より2年おき開講。
02DC584	先史学研究II B	2	1.5	1・2					実際の物質の観察、分析を通じて、考古科学、考古化学に関する理論と実践について理解を深め、結果および課題を考察する力を養う。	2017年度より2年おき開講。
02DC585	先史学研究III A	2	1.5	1・2	春ABC	月5	人社 B717	三宅 裕	人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察し、先史学の方法と理論について理解を深める。もの作りの技術の中から冶金術に焦点を当て、その技術的特性ならびに研究方法について理解を深める。	2018年度より2年おき開講。
02DC586	先史学研究III B	2	1.5	1・2	秋ABC	月5	人社 B717	三宅 裕	人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察し、先史学の方法と理論について理解を深める。世界の各地域における冶金術の発展の様相について検討しながら、世界的な視野から冶金術の意義について考える。	2018年度より2年おき開講。
02DC587	先史学研究IV A	2	1.5	1・2	春ABC	金3		谷口 陽子	自分の関心のある領域に引き付けて、考古科学、考古化学に関する理論と実践について論文講読を中心に理解を深め、幅広い視点からその結果および課題を考察する力を養う。	2018年度より2年おき開講。
02DC588	先史学研究IV B	2	1.5	1・2	秋ABC	金3		谷口 陽子	Aでの理論を踏まえて、実際の物質の観察、分析を通じて、考古科学、考古化学に関する理論と実践について理解を深め、結果および課題を考察する力を養う。	2018年度より2年おき開講。
02DC589	先史学研究V A	2	1.5	1・2					人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察する先史学の方法と理論について理解を深める。狩猟採集社会の特徴について多面から検討しているテキストを講読し、議論を通して先史時代の社会について考察する。	2016年度より2年おき開講。
02DC590	先史学研究V B	2	1.5	1・2					人類社会の適応戦略について幅広い視点から考察する先史学の方法と理論について理解を深める。先史時代の狩猟採集社会に関する論文を講読し、議論を通して具体的に狩猟採集社会像をイメージできるよう努める。	2016年度より2年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC591	先史学研究VI A	2	1.5	1・2					考古科学、考古化学に関する理論と実践について理解を深め、幅広い視点からその結果および課題を考察する。	2016年度より2年おき開講。
02DC592	先史学研究VI B	2	1.5	1・2					特定のテーマに特化し、考古科学、考古化学に関する理論と実践について理解を深め、最新の学術論文の成果に基づき、結果および課題を考察する。	2016年度より2年おき開講。
02DC595	考古学研究I A	2	1.5	1・2					古墳時代は日本列島の国家形成期と位置づけられ、汎列島規模での階層的な政治組織が成立した時期であると考えられる。この授業では、古墳の存在形態に関する従来の議論を批判的に検討することをつうじて、古墳時代における政治組織の変遷とその特質を考察する。	2017年度より2年おき開講。
02DC596	考古学研究I B	2	1.5	1・2					古墳時代は、近畿地方の政治勢力を中心として日本列島の広い範囲にわたる政治的統合が進展した時期と考えられる。その一方で、地域的な偏在性を示す考古資料も数多く存在し、それらの資料の分析からさまざまなレベルでの地域集団の存在も想定される。この授業では、そうした地域的な偏在性を示す考古資料を取り上げて、古墳時代の地域社会とその特質について考察する。	2017年度より2年おき開講。
02DC597	考古学研究II A	2	1.5	1・2					The Ancient West Asian civilization, which had emerged long before Islam surfaced in the Middle East, was an extremely important civilization because it laid the foundation for elements necessary in all modern human societies, from fundamental foodstuff, technological innovation, social systems to the spiritual life. In this class, we examine the conditions of "advancedness" and "universality" of ancient West Asian civilization, and try to illuminate why and how the civilization was able to survive a series of great transitions in human history.	2017年度より2年おき開講。
02DC598	考古学研究II B	2	1.5	1・2					Life and Another world for the ancient Near Eastern People. How did people treat the dead?	2017年度より2年おき開講。
02DC599	考古学研究III A	2	1.5	1・2	春ABC	木5		滝沢 誠	弥生時代から古墳時代にかけての社会的変化を理解するにあたり、前方後円墳に代表される古墳がどのような経緯で成立したのかを明らかにすることは、きわめて重要な研究課題である。この授業では、弥生墳丘墓の諸要素を整理するとともに、前方後円墳に代表される初期の古墳がそれらとどのような関係にあるのかを検討することにより、古墳出現の歴史的意義を考察する。	2018年度より2年おき開講。
02DC600	考古学研究III B	2	1.5	1・2	秋ABC	木5		滝沢 誠	古墳時代の特徴の一つは、弥生時代以来の社会変化をつうじて出現した各地の首長層が広域の交流を実現した点に求めることができる。その交流は、中央と地方の関係にとどまらず、地方と地方の関係においても認められ、その交流内容は、政治、経済、宗教、軍事などの多方面にわたっている。この授業では、古墳時代の首長間交流を示す考古資料を検討することにより、首長間交流の実態や背景を明らかにし、古墳時代首長層の結合形態を考察する。	2018年度より2年おき開講。
02DC601	考古学研究IV A	2	1.5	1・2	春ABC	火4		常木 晃	葬送の考古学：人はなぜ死者を埋葬するようになったのか、埋葬することでなにを表現しようとしたのか、埋葬後の葬送儀礼の意味と、その変遷などについて、本研究参加者それぞれの研究テーマで考える。	2018年度より2年おき開講。
02DC602	考古学研究IV B	2	1.5	1・2	秋ABC	火4		常木 晃	現代の考古学：考古学研究の現代的意味について、本研究の参加者それぞれのテーマで考察を深める。	2018年度より2年おき開講。
02DC603	考古学研究V A	2	1.5	1・2					古墳時代は日本列島における国家形成期と位置づけられる。この授業では、古墳にみられる様々な副葬品の分析をつうじて日本列島における国家の形成過程を考察するとともに、その方法的課題について検討する。	2016年度より2年おき開講。
02DC604	考古学研究V B	2	1.5	1・2					弥生時代から古墳時代にかけては様々な武器が発達し、大規模な集団どうしの組織的な戦闘が本格的に開始されたとみられる。この授業では、考古学的な資料にもとづいて、日本列島における武器の出現と発達について理解するとともに、その歴史的意義を考察する。	2016年度より2年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC605	考古学研究VI A	2	1.5	1・2					For further understanding of prehistoric burial practices in West Asia, we read the following book and discuss about how and why the various funeral ceremonies appeared in the ancient West Asia. Book: Karina Croucher, Death and Dying in the Neolithic Near East, Oxford University Press	2016年度より2年おき開講。
02DC606	考古学研究VI B	2	1.5	1・2					西アジアにおける初期の埋葬について、文献を読みながら討議を重ねる。 Book: Karina Croucher, Death and Dying in the Neolithic Near East, Oxford University Press	2016年度より2年おき開講。
02DC607	考古学研究VII A	2	1.5	1・2	春BC	集中				
02DC608	考古学研究VII B	2	1.5	1・2	秋C	集中				
02DC609	先史学・考古学基礎実習	3	3.0	1・2	秋B	集中		先史学・考古学領域教員	発掘調査や測量調査などのフィールドワークに参加し、基本的な作業を体得する。また、同時にフィールドワークに参加している学群生を指導し、調査指導者として必要な基礎的能力を養う。	
02DC610	先史学・考古学実習	3	3.0	3 - 5	秋B	集中		先史学・考古学領域教員	発掘調査や測量調査などのフィールドワークに主導的な立場で参加し、調査を遂行していく方法について学ぶ。	
02DC611	先史学・考古学基礎研究I A	2	1.5	1	春ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	過去における人類社会の復元とその変遷過程に関する具体的な研究を題材として取り上げ、それについて検討、討議する。	
02DC612	先史学・考古学基礎研究I B	2	1.5	1	秋ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	過去における人類社会の復元とその変遷過程に関する具体的な研究を題材として取り上げ、それについて検討、討議する。	
02DC613	先史学・考古学基礎研究II A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	修士論文(中間評価論文)の研究テーマに即した題材を取り上げ、それについて検討、討議する。	
02DC614	先史学・考古学基礎研究II B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	修士論文(中間評価論文)の研究テーマに即した題材を取り上げ、それについて検討、討議する。	
02DC615	先史学・考古学研究I A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC616	先史学・考古学研究I B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC617	先史学・考古学研究II A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC618	先史学・考古学研究II B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC619	先史学・考古学研究III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC620	先史学・考古学研究III B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC621	先史学・考古学研究IV A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC622	先史学・考古学研究IV B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC623	先史学・考古学研究V A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	
02DC624	先史学・考古学研究V B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B717	先史学・考古学領域教員	先史学・考古学の最新の研究成果を持ち寄り、資料や方法論、結論の妥当性などについて、相互に検討を深める。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC643	民俗学特講II A	1	1.5	1・2					民俗学において信仰伝承研究がどの様に進められて来たかを踏まえるとともに、民俗学ならびに関連分野の論文を講読し、受講者それぞれの研究関心からの検討を加える。	西暦奇数年度開講。
02DC644	民俗学特講II B	1	1.5	1・2					民俗学における近年の信仰伝承研究の現状を踏まえるとともに関連分野の論文を講読し、受講者それぞれの研究関心からの検討を加える。	西暦奇数年度開講。
02DC645	民俗学特講III A	1	1.5	1・2					日本をフィールドとした民俗(族)誌を輪読し、民俗学的な理解の可能性について、「漁業」をとりまくサブシステムの動態を対象に、領域横断的な研究例の検討を通じて、展望することを目的とする。	西暦偶数年度開講。 2018年度開講せず。
02DC646	民俗学特講III B	1	1.5	1・2					日本をフィールドとした民俗(族)誌を輪読し、民俗学的な理解の可能性について、「漁業」をとりまくサブシステムの動態を対象に、古典的研究の批判的検討を通じて展望することを目的とする。	西暦偶数年度開講。 2018年度開講せず。
02DC647	民俗学特講IV A	1	1.5	1・2					日本社会の地域的差違と地域性に関する民俗学及び周辺諸科学における代表的論文・著作の講読を行い、日本社会の多元性について考察を深める。	西暦奇数年度開講。
02DC648	民俗学特講IV B	1	1.5	1・2					日本社会の地域的差違と地域性に関する民俗学及び周辺諸科学における代表的論文・著作の講読を行い、日本社会の多元性について考察を深める。	西暦奇数年度開講。
02DC649	民俗学特講V A	1	1.5	1・2					人びとの生活に密接に関わる制度、法令について共に考える。	西暦奇数年度開講。 01DQ349と同一。
02DC650	民俗学特講V B	1	1.5	1・2					現地調査によって得られた事例についてA(過去)→B(現状)という事例の変容にとどまらず、A'(過去にあり得た事例)、B'(いずれあり得る事例)など、その過去・現在・将来まで検討する。	西暦奇数年度開講。 01DQ350と同一。
02DC651	民俗学演習I A	2	1.5	1・2					民俗学の目的、概念、方法について、学史をふまえながら整理し、自己の研究が学説史のどこに位置づけられ、現代にどのような意義を持つのかについてまとめる。	西暦偶数年度開講。 2018年度開講せず。 隔週開講
02DC652	民俗学演習I B	2	1.5	1・2					各自フィールドデータに基づく研究発表を中心に、学説史の位置、現代における意義について討論を重ねる。	西暦偶数年度開講。 2018年度開講せず。 隔週開講
02DC653	民俗学演習II A	2	1.5	1・2	春ABC	木2	人社B717	徳丸 亜木	本演習では、主に歴史民俗学的視点に関わる民俗学研究ならびに、歴史学・文化人類学・社会学・宗教学など関連領域の研究から文献を選び、講読し、批判的に検討する事により、参加者各々が歴史民俗学的研究に関する知見を深め、自らの研究課題に関わる方法論への検討を行う。参加者は、担当する文献に対して検討を加え、その発表を基に全員で討論を行う。討論への積極的な参加姿勢が望まれる。	西暦偶数年度開講。
02DC654	民俗学演習II B	2	1.5	1・2	秋ABC	木2	人社B717	徳丸 亜木	祖先祭祀研究・葬制墓制研究の現在」をテーマとして、日本および東アジアの葬制墓制に関する民俗学および文化人類学の研究論文を講読し、検討する。参加者は、担当する文献に対して検討を加え、その発表を基に全員で討論を行う。討論への積極的な参加姿勢が望まれる。	西暦偶数年度開講。
02DC655	民俗学演習III A	2	1.5	1・2					「漁業」の民俗を対象に、古典的研究の批判的検討を通じて、民俗学的視点と方法を展望することを目的とする。	西暦奇数年度開講。 01DQ359と同一。 隔週開講
02DC656	民俗学演習III B	2	1.5	1・2					「漁業」をとりまくサブシステムの動態を対象に、民俗学的研究視点と方法について領域横断的に展望することを目的とする。	西暦奇数年度開講。 01DQ360と同一。
02DC657	民俗学演習IV A	2	1.5	1・2	春ABC	月6	人社B717	中込 睦子	家族・婚姻・親族・死生観などに関する民俗学及び周辺諸科学における代表的論文・著作の講読を行う。	西暦偶数年度開講。
02DC658	民俗学演習IV B	2	1.5	1・2	秋ABC	月6	人社B717	中込 睦子	家族・婚姻・親族・死生観などに関する民俗学及び周辺諸科学における代表的論文・著作の講読を行い、各自の研究課題を学史的観点から再検討する。	西暦偶数年度開講。
02DC659	民俗学演習V A	2	1.5	1・2	春ABC	金2	人社B717	武井 基晃	戦後台湾の民俗誌・実例をふまえながら、家族という研究対象について様々な方向から検討し、理解する。	01DQ347と同一。
02DC660	民俗学演習V B	2	1.5	1・2	秋ABC	金2	人社B717	武井 基晃	戦前・戦中の日本統治下における台湾の社会と民俗の研究について当時の資料をもとに理解する	01DQ348と同一。
02DC661	民俗学研究法特講I A	1	1.5	1・2	春ABC	火5,6	人社B717	中野 泰	フィールドノートのテキストクリティクを行いながら、フィールドワークに基づく民俗(族)誌の意義と可能性について、民俗学的理解を深める。	西暦偶数年度開講。 01DQ357と同一。 隔週開講
02DC662	民俗学研究法特講I B	1	1.5	1・2	秋ABC	火5,6	人社B717	中野 泰	フィールドノートと民俗誌のテキストクリティクを行いながら、民俗学的フィールドワークに基づく民俗(族)誌の意義と可能性について、領域横断的な理解を深める。	西暦偶数年度開講。 01DQ358と同一。 隔週開講
02DC665	民俗誌学演習 A	2	1.5	1・2					日本をフィールドとした民俗(族)誌を輪読し、その研究枠組みについて、その形成過程から理解することを目標とする。	西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC666	民俗誌学演習 B	2	1.5	1・2					日本をフィールドとした民俗(族)誌を輪読し、その研究枠組みの今日的広がりや意義について理解することを目標とする。	西暦奇数年度開講。
02DC667	民俗学研究法実習Ⅰ A	3	1.5	1	春ABC	応談		民俗学コース教員	1年次生を対象に、フィールドワークの深め方と総合化等、今後の民俗学研究の基礎となる研究法を訓練する。フィールドや調査テーマについての事前学習会実施を補助する。	
02DC668	民俗学研究法実習Ⅰ B	3	1.5	1	秋A	集中		民俗学コース教員	1年次生を対象に、フィールドや調査テーマについての事前学習会実施の補助を継続し、実習前に予備調査を行う。10月末頃に1週間程度のフィールドワークを行い、フィールドワークで得られた資料を基にして報告書を作成する。	
02DC669	民俗学研究法実習Ⅱ A	3	1.5	3	春ABC	応談		民俗学コース教員	3年次生を対象に、実習に関わる事前学習会、フィールドの選定並びに予備調査に主体的に関わり、調査と研究の方法全般についてより高度な訓練を行う。	
02DC670	民俗学研究法実習Ⅱ B	3	1.5	3	秋A	集中		民俗学コース教員	3年次生を対象に、実習に関わる事前学習会、フィールドの選定並びに予備調査、本調査、事後学習会に主体的に関わる事により、特定地域の民俗調査とその報告、民俗調査の実務、およびフィールドワークの指導方法を学ぶ。研究テーマに即したレポートや小論文の執筆を課す。	
02DC671	民俗学基礎研究Ⅰ A	2	1.5	1	春ABC	水2,3	人社 B717	民俗学コース教員	中間評価論文の完成を目標として、論文執筆に関わる指導を行う。1年次生を対象とする基礎的セミナー。卒業論文までの研究テーマについての研究発表に基づき、参加者による討論を行う。	
02DC672	民俗学基礎研究Ⅰ B	2	1.5	1	秋ABC	水2,3	人社 B717	民俗学コース教員	中間評価論文の完成を目標として、論文執筆に関わる指導を行う。1年次生を対象とする基礎的セミナー。中間評価論文で扱う研究テーマについて資料収集を進め、整理を成し得た資料に基づいて研究発表を行い、参加者による討論を行う。	
02DC673	民俗学基礎研究Ⅱ A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	中間評価論文の完成を目標として、調査内容の設定、論文の構想に関わる指導を行う。2年生を対象とする初級セミナー。今後の研究課題を明確化し、修士論文を完成させる。	
02DC674	民俗学基礎研究Ⅱ B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	中間評価論文の完成を目標として、論文の構想、資料提示と論旨の展開方法など論文執筆に関わる指導を行う。2年生を対象とする初級セミナー。参加者各人が自己の中間評価論文テーマに関する研究発表を行い、修士論文を完成させる。	
02DC675	民俗学研究Ⅰ A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	3年次生を対象とする中級セミナー。博士論文のテーマ選定を目標として、論文執筆に関わる指導を行う。	
02DC676	民俗学研究Ⅰ B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	3年次生を対象とする中級セミナー。博士論文に向けての研究計画、調査計画に関わる指導を行う。	
02DC677	民俗学研究Ⅱ A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	4年次生を対象とする中級セミナーの後半。博士論文の完成を目標として、論文執筆に関わる指導を行う。	
02DC678	民俗学研究Ⅱ B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	4年次生を対象とする中級セミナーの後半。具体的な調査データに基づいて博士論文の全体構成を検討する。	
02DC679	民俗学研究ⅢⅠ A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	5年次生を対象とする上級セミナー。博士論文の完成を目標として、概要および課題について指導を行う。	
02DC680	民俗学研究ⅢⅠ B	2	1.5	5	秋ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	5年次生を対象とする上級セミナー。実際に論文を執筆しながらさらに研究課題を明確化し、博士論文を完成させる。	
02DC681	民俗学研究Ⅳ A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	5年生を対象とし、博士論文完成に向けて、課題、論理構成について研究発表をする。	
02DC682	民俗学研究Ⅳ B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	5年生を対象とし、博士論文の完成を目標として、事例の分析・考察についてより高度な発表を行う。	
02DC683	民俗学研究Ⅴ A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	5年次生を対象として、論文執筆に関わる指導と議論を通して、博士論文を完成させる。	
02DC684	民俗学研究Ⅴ B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社 B717	民俗学コース教員	5年次生を対象として、博士論文の各章について事例の分析・考察をより高度化させ発表し、博士論文を完成させる。	
02DC701	文化人類学特講Ⅰ A	1	1.5	1・2					民族誌と理論の関係および人類学的方法論的な課題について、議論する。民族誌的な事例を取り上げつつ、様々なテーマと多様な方法論の問題について議論する。	2018年度開講せず。英語と日本語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC702	文化人類学特講I B	1	1.5	1・2					民族誌と理論の関係および人類学的方法論的な課題について、議論する。民族誌的な事例を取り上げつつ、様々なテーマと多様な方法論の問題について議論する。	2018年度開講せず。 英語と日本語で授業。
02DC703	文化人類学特講II A	1	1.5	1・2	春ABC	木5	人社B817	内山田 康	宗教学人類学の民族誌を精読し、精神分析のアプローチの有効性について考察する。	
02DC704	文化人類学特講II B	1	1.5	1・2	秋ABC	木5	人社B817	内山田 康	ポストヒューマンの人類学をアプローチを概観し、原発事故、放射能汚染の事例を使いながらその可能性と限界について考察する。	
02DC705	文化人類学特講III A	1	1.5	1・2					人類学の論文を精読し、民族誌と理論の関係や、社会をめぐる思考様式についての理解を深める。また、文化や言語の多様性と普遍性をめぐる諸課題を検討し、言葉と世界観、行為や技術、身体との関わりについて論じ、それを通して諸理論に精通するとともに、フィールドワークとはいかなる営みであるかを考える。	2018年度開講せず。
02DC706	文化人類学特講III B	1	1.5	1・2					言語人類学特講	2018年度開講せず。
02DC707	民族誌学I A	1	1.5	1・2	春ABC	火4	人社B817	木村 周平	事例を通じて、人類学の方法である民族誌について批判的に検討する。	
02DC708	民族誌学I B	1	1.5	1・2	秋ABC	火4	人社B817	木村 周平	事例を通じて、人類学の方法である民族誌について批判的に検討する。	
02DC709	民族誌学II A	1	1.5	1・2					本授業では、世界各地の民族誌的事例を比較しながら、身体・社会・科学技術との関わりについての理解を深めることを目的とする。病気と健康の多様性をめぐる諸課題を中心に、科学技術社会論と医療人類学の分野における近年の動向を概観する。	2018年度開講せず。 英語と日本語で授業
02DC710	民族誌学II B	1	1.5	1・2					現代社会を扱った民族誌を精読し、先行研究を丁寧に読み解き、自身の研究を深める作業を共有する。扱う文献は、いくつかの候補のなかから参加者の関心を加味して決定する。	2018年度開講せず。 英語と日本語で授業
02DC711	民族誌学III A	1	1.5	1 - 5					Alfred GellのArt and Agency: An Anthropological Theory(AA)を精読しながらAAに何が書かれているかをまず正確に理解する。さらにAA以外のGellの著作その他を読み直してGellが書きたかったことは一体何だったのかについて考察する。最後に未完の部分を持ってAAの全体像を再構成するエクササイズを行う。	2018年度開講せず。
02DC712	民族誌学III B	1	1.5	1 - 5					第一次世界大戦から現代に至るまでの一世紀に渡る科学の発展、国家プロジェクトの展開、科学の知の歴史的展開の中に、今日の科学と科学の人類学の知を位置づけ直し、科学としての科学の人類学が抱える問題およびその可能性と限界について考察する。	2018年度開講せず。
02DC713	文化人類学演習I A	2	1.5	1・2	春ABC	木6	人社B817	内山田 康	The focus of this graduate level seminar is on recent work in posthumanities.	英語と日本語で授業。
02DC714	文化人類学演習I B	2	1.5	1・2	秋ABC	木6	人社B817	内山田 康	The focus of this graduate level seminar is on writing ethnography.	英語と日本語で授業。
02DC715	文化人類学演習II A	2	1.5	1・2					Anthropology of Ethics・倫理の人類学に関する理解を深める。James LaidlawのThe Subject of Virtue (2014)を始め、近年の“Ethical Turn”に関する著書・論文を批判的に検討し、Ethicsを考慮した研究を進める。	2018年度開講せず。
02DC716	文化人類学演習II B	2	1.5	1・2					Emergence in Anthropology: “Emergence” has become a key term in anthropology to signify the production of novel, unexpected, or transgressive forces and flows. By their nature, emergent processes defy the possibility of full textualization—the classical pre-condition of ethnographic writing in the referential mode—yet, they are always already at work in our sites and our texts. In this seminar, we will read theoretical and ethnographic texts that will help us think about emergence, and related themes of becoming and immanence, in anthropology. Anthropologists have mobilized the trope of emergence to re-frame discussions of human-non-human interactions, political change, and self-society relations broadly. This seminar will critically analyze and compare different approaches to provide students with a theoretical sensitivity to deploy in their own research.	2018年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC717	文化人類学演習III A	2	1.5	1・2					This Post-Graduate Zemi is conducted in English. The purpose is to delve into recent theoretical themes and methodological issues in anthropological research and writing in a largely Euro-American (socio-cultural anthropology) context. Geographic area and topical interests are highly variable. Previous Zemi topics have included posthuman, cosmopolitan, and affect oriented approaches. Grades are based on papers, projects, and presentations.	2018年度開講せず。英語と日本語で授業。
02DC718	文化人類学演習III B	2	1.5	1・2					人類学の主要なテーマ、様々な記述の仕方、概念の使い方を参照しつつ、民族誌を書くトレーニングを行う。	2018年度開講せず。英語と日本語で授業。
02DC719	民族誌学演習I A	2	1.5	1・2					事例を通じて、人類学の方法である民族誌について批判的に検討する。今回は特に主体性、苦しみ、情動(subjectivity, suffering, and affection)をテーマに、1980年代以降の研究手法について扱う。	2018年度開講せず。英語と日本語で授業。
02DC720	民族誌学演習I B	2	1.5	1・2					事例を通じて、人類学の方法である民族誌について批判的に検討する。今回は特に物質性(materiality)をテーマに、物質文化研究から科学技術社会論に至るアプローチについて理解を深める。	2018年度開講せず。英語と日本語で授業。
02DC721	民族誌学演習II A	2	1.5	1・2					フィールドで人類学の概念を見だし、これを使って世界をクリティカルに記述し直す様々な技法について、事例研究を行う。	2018年度開講せず。英語と日本語で授業。
02DC722	民族誌学演習II B	2	1.5	1・2					クリティカルな人類学を書くために、どのような民族誌の記述の方法があるのか? どのような理論の使い方が良いのか? どのような議論の方法があるのか? 具体的な事例研究を通して、これらの中に実践的に答えるトレーニングを行う。	2018年度開講せず。英語と日本語で授業。
02DC723	民族誌学演習III A	2	1.5	1・2					現実世界とより深く関わる人類学のあり方を、近年の研究成果を検討しつつ、具体的な事例を通して探求する。	2018年度開講せず。英語と日本語で授業。
02DC724	民族誌学演習III B	2	1.5	1・2					現実世界とより深く関わる人類学・民族誌のあり方を、具体的な事例についての検討と議論を通して探求する。	2018年度開講せず。英語と日本語で授業。
02DC725	文化人類学研究法実習I A	3	1.5	1	春ABC	応談		文化人類学コース教員	1年次生を対象として、フィールドワークの方法論を実践的に学ぶ。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC726	文化人類学研究法実習I B	3	1.5	1	秋ABC	応談		文化人類学コース教員	1年次生を対象として、修士論文作成に向けたフィールドワークの実践的遂行能力を養う。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC727	文化人類学研究法実習II A	3	1.5	3	春ABC	応談		文化人類学コース教員	3年次生を対象として、博士論文作成に向けてフィールドワークの方法論を実践的に学ぶ。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC728	文化人類学研究法実習II B	3	1.5	3	秋ABC	応談		文化人類学コース教員	3年次生を対象として、博士論文作成に向けたフィールドワークの実践的遂行能力を養う。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC729	文化人類学基礎研究I A	2	1.5	1	春ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	1年次生を対象として、学生各自が修士論文に関わる理論や地域情報に関する発表を行う。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC730	文化人類学基礎研究I B	2	1.5	1	秋ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	1年次生を対象として、学生各自が理論や文献に関する発表を行い、修士論文の研究課題を決定する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC731	文化人類学基礎研究II A	2	1.5	2	春ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	2年次生を対象として、学生各自が修士論文の研究課題に沿って民族誌および理論について発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC732	文化人類学基礎研究II B	2	1.5	2	秋ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	2年次生を対象として、学生各自が研究課題に即した発表を行い、論文の作成能力を養う。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC733	文化人類学研究I A	2	1.5	3	春ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	3年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題に沿って民族誌および理論について発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC734	文化人類学研究I B	2	1.5	3	秋ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	3年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題に即して対象社会の情報を分析し、発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC735	文化人類学研究II A	2	1.5	4	春ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	4年次生を対象として、博士論文の執筆に向けて、学生各自がフィールドワークで収集した資料を整理・分析して発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC736	文化人類学研究II B	2	1.5	4	秋ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	4年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題に即した対象社会の情報を分析し、比較考察した成果を発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DC737	文化人類学研究III A	2	1.5	5	春ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、学生各自が博士論文の研究課題およびその構成を発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC738	文化人類学研究III B	2	1.5	5	春ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、学生各自が博士論文について民族誌の記述、理論に関わる分析を発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC739	文化人類学研究IV A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、学生各自が博士論文の各章について理論的考察を交えて発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC740	文化人類学研究IV B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、博士論文完成に向けて、学生各自が民族誌の記述、理論に関わる分析・考察をより精緻化させて発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC741	文化人類学研究V A	2	1.5	3 - 5	春ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、博士論文完成に向けて、学生各自が民族誌の記述、理論に関わる分析・考察をより高度化させて発表する。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる
02DC742	文化人類学研究V B	2	1.5	3 - 5	秋ABC	応談	人社B817	文化人類学コース教員	5年次生を対象として、博士論文の各章について、学生各自が理論に関わる分析・考察をより高度化させ発表し、博士論文を完成させる。	英語と日本語で授業。Cモジュールは英語を用いる